カンヤマトイハワレヒコ

神日本磐余彦尊。
初代神武(じんむ)天皇。日向頭殿。斎名：タケヒト。　アメミコ(陽陰御子)とも呼ばれる。
カンタケ (神武) は、『カンヤマトイハワレヒコ』＋『タケヒト』の略。
ウガヤとタマヨリ姫に生まれた二番目の子。コモリの曾孫にあたる。ウガヤにとってはヰツセ (ヤセ姫)、ミケイリ (タマヨリ姫の連れ子)、イナイイ (タマヨリ姫) に次いで４人目の子となる。
ウガヤが罷る時、ミヤザキ宮にタネコと共に行って白矢羽のヲシデを賜り、そのままツクシに居つく。この時タケヒト 15 歳。ツクシでアヒラツ姫を妻とし、タギシミミを生む。
東征を果たし、カシハラ宮にタタラヰソスズ姫を内宮に迎え、カンヤヰミミとカヌナカワミミを生む。
アメタネコとクシミカタマが左右を勤める。
カシヲ (ウネビ山北の白檮尾) の陵に埋葬 (畝傍山東北陵)。三十三人が殉死。

```
                    タケイワタツ──アソ姫(内侍)
                                  |
オホナムチ─クシヒコ─コモリ──┬モトメ(典侍)
                              |  |                (タケツミの妻に下される)
                              └イソヨリ姫(内侍)─…─…─…─…─…─…─…┐
アマテル─オシホミミ─ニニキネ┐    |                                  |
                            ├─ホオテミ     ヤセ姫   ┌ヰツセ            :
    カグツミ─マウラ─アシツ姫┘    |            |──┘                  |
                                  |──ウガヤフキアワセズ                :
                                  |              |                    |
カナサキ───??───ハテツミ──┬トヨタマ姫(内宮)   |───┬イナヰイ          :
                              |                |      |              |
                              └カモタケツミ      |      └カンタケ       :
                                    |──────タマヨリ姫                  |
                                イソヨリ姫      |───ミケイリ            :
                                  ↑           白羽の矢                  |
                                  |                                    :
                                  └…─…─…─…─…─…─…─…─…─…─…─…─┘
```

```
ツミハ──┐ ┌クシミカタマ
        ├┼クシナシ
タマクシ姫┘ └──────タタラヰソスズ姫(内宮)
                          |
                ┌ヰツセ    |─カンヤヰミミ
                ├ミケイリ  |
ウガヤフキアワセズ┐ ├イナヰイ  |─カヌナカワミミ┬イキシ
                ├┤          |                |
タマヨリ姫────┘ └カンヤマトイハワレヒコ      └タマテ
                      |
                      |─タギシミミ
                      |
ヒウガ・アタ県主───アヒラツ姫(大典侍)
```

宮崎県宮崎市神宮、宮崎 (ミヤザキ) 神宮
奈良県橿原市久米町、橿原 (カシハラ) 神宮

鏡臣　：　アメタネコ
大物主：　クシミカタマ
内宮　：　タタラヰソスズ姫 (ツミハの娘)　　カンヤヰミミ(2)　カヌナカワミミ(3)
大典侍：　アヒラツ姫 (筑紫アタ県主の娘)　　タギシミミ(1)

■上鈴 6 年 生。58 年 (52 歳) 即位。上鈴 133 年 (127 歳) 崩御。

『生む御子は　イナイイ君ぞ　御后と　成りて生む御子　カンヤマト　イハワレヒコの　尊なり』27 文
『時にタネコが　"タケヒト"と　斎名ちりばめ　奉る』27 文
『天君 御子に　御言宣　連の御歌に　"これヲシテ　訪経る機の　連根にぞなせ"』27 文
『ひたるの時に　これを継ぐ　母･子到れば　遺し言　"このムラクモは　生れませる　御子の祝ひに　捧げよ"』27 文
『タネコは御子の　大御守　御子タケヒトは　歳五つ　またイワクラは　宮内の　局預り』27 文
『御子タケヒトと　守タネコ　タガより出でて　西の宮　大ワニ乗りて　ウドの浜　ミヤサキ宮に　到ります』27 文
『汝二人も　永らえず　イツセは子無し　タケヒトは　万の御祖なり　タネコらも　ヱト六十内に　妻入れて　代嗣を成せよ』27 文
『タケヒトは　歳十五なれば　我が代わり　タネコが助け　治むべし』27 文

『ホツマツタヱ解読ガイド』より